

小学校

教科【算数】

単元【小数：数の表し方やしくみを調べよう】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

Google Jamboardを活用し、互いの考えを比較したり、考えのよさを見付けたりすることにより、よりよい問題解決の方法を考えることができ、学びが深まる。

ICT活用のポイント

Google Jamboardを活用することにより、具体物を操作しながら説明することができるように、短時間で友だちと交流することができ、小数についての深い理解につながる。

使用する
ICT機器

大型提示装置、タブレット等

使用するアプリ・
クラウドサービス等Google Jamboard、Google フォーム
デジタルドリル「eライブラリ」クラウド
の活用☒教材の配布・回収等
☒生徒の学習状況の把握
☐資料等の共有
☐その他（ ）本時の
ねらい

整数で表せない端数部分の大きさの表し方を、既習の数の仕組みや単位の学習に着目して考え、理解することができる。

主な学習活動
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

- 学習の目的を共有する。
- 本時の問題を確認し、学習課題を捉える。

一斉



大型提示装置に、365日と36.5度のように、これまで見たことがある小数及び整数の画像を提示し、数字の並びが同じであることや点があることなど、共通点や相違点を話し合うことを通して、小数の表し方や仕組みを学習するという目的を共有する。

ICT機器



今までの経験や既習事項を基に、0.3Lの表し方について、見通しをもつ。



展開

- 水のかさの表し方を考える。
- 考えたことを交流する。
- まとめ・振り返り

個別

協働

協働

個別



Google Jamboard上に用意された「水」、「1Lます」等のパーツを操作し、0.3Lを表すために1Lをいくつに分けるとよいのかを考える。

ICT機器

指針3



自分の考えを、タブレットを使って説明し、互いの意見を交流する。

指針2

クラウド



子どもたちが気付いたことを整理し、まとめる。



Google フォームを使用し、自己評価を行い、提出する。

クラウド

ここで評価

【知】
端数部分の大きさを表すのに小数を用いることも知っている。

終末

- 習熟問題に取り組む。



自分の理解度に合わせて、デジタルドリルの難易度を選び、練習問題に取り組む。

ICT機器

指針4

ここで評価



Google フォームのデータを確認し、学習状況に応じて児童への支援を行う。

【知】
小数の表し方及び一の位について知っている。

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度